

第1回理事会・第1回評議員会 議決

平成28年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作者情報システム事業	2
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	2
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	3
(1) 福祉用具プランナー養成事業	3
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	4
(3) リフトリーダー養成事業	5
(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー	5
(5) 認定補聴器技能者の養成	6
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	8
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	8
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	11
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	11
7. 法人自主事業	12
(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットホーム」 としての役割を果たすための連携・支援	12
(2) 広報活動	12
(3) 福祉用具の規格化に関する事業	13
(4) その他事業	13
8. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	14
II. 理事会・評議員会の開催状況	15
III. 評議員の異動	17
IV. 賛助会員の現況	18
V. 委員会等の開催状況	19

．事業実施結果の概要

1．福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

（1）福祉用具情報システム（T A I S）事業

福祉用具の効果的な利用を促進するための基盤整備として、全国の福祉用具製造事業者等及び福祉用具情報を一元的にデータベース化し、協会ホームページを通じて、市町村の介護保険担当者や福祉用具相談担当者、利用者等に幅広く情報発信を行った。

《 平成29年3月末現在 情報総数 》

企業情報	749社
用具情報	10,551点

福祉用具情報の分類別件数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	742	7.0
06	義肢・装具	23	0.2
09	パーソナルケア関連用具	1,462	13.9
12	移動機器	4,193	39.7
15	家事用具	25	0.3
18	家具・建具・建築設備	3,476	32.9
21	コミュニケーション関連用具	550	5.2
24	操作用具	21	0.2
27	環境改善機器・操作用具	39	0.4
30	レクリエーション用具	5	0.1
89	その他の用具	15	0.1
合 計		10,551	100.0

介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸 与	7,345点
購 入	1,345点
計	8,690点

登録件数の推移

事業年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
企業情報件数 (対前年度増減)	597 (13)	636 (39)	663 (27)	712 (49)	749 (37)
用具情報件数 (対前年度増減)	7,672 (469)	8,367 (695)	8,999 (632)	9,702 (703)	10,551 (849)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

当協会のホームページを活用して、障害のある方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報（平成29年3月31日現在 650件）を収集し、これをメーカーや研究者等へ提供することにより、障害者や高齢者等が真に必要とする使い勝手の良い用具の研究開発を推進する事業を行った。

また、情報の投稿や検索の利便性を考慮し、携帯端末からも投稿等ができるようになっている。

(3) 補装具製作者情報システム事業

障害者総合支援法による補装具費支給制度は、障害者と補装具製作者との契約による制度であることから、障害者や市町村の担当者が義肢製作所の所在地や取扱い種目等の情報を適切に選定できるようにするため、当協会のホームページから情報提供を行っている。

《 平成29年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	266製作所
-------	--------

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく義肢装具等の完成用部品については、利用者の身体状況や使用環境に適合した適切な完成用部品が選定されるよう、当該部品の対象者やその効果、また適応範囲や調整方法等についての詳細な情報を当協会のホームページから情報発信している。

《 平成29年3月末現在 情報総数 》

企業情報	29社
部品情報	1,523点
(内 訳)	
殻構造義肢	340点
骨格構造義肢	661点
装具	211点
座位保持装置	311点

2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

（1）福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の効果的な使用と普及促進を図るため、福祉用具の選定や使用方法等に関する専門職として、さらに福祉用具専門相談員等に対する適切な支援、助言者としての福祉用具プランナーを育成することを目的として研修会を実施した。（修了者累計 13,845 名）

さらに、福祉用具プランナーの更なる質の担保及びその能力の適切な認定等を図るため平成27年度から試験委員会を設置しているほか、5年を単位とする更新制度を行っている。（更新者累計 990 名）

また、福祉用具プランナーのさらなる質の向上、福祉用具プランナー研修等の指導者（講師）養成、福祉用具レンタル事業者等の管理職養成を目的に、福祉用具プランナー研修の上級資格である「福祉用具プランナー管理指導者」の養成研修を実施した。（累計 81 名）

福祉用具プランナー養成研修

1) テクノエイド協会主催

a) 第1回

- ・ eラーニング研修期間 平成28年7月15日（金）～ 9月7日（水）
- ・ 集合研修期間 平成28年9月 8日（木）～10日（土）
平成28年9月15日（木）～16日（金）
平成28年9月22日（木）～23日（金）
- ・ 開催地 埼玉
- ・ 修了者 32名

b) 第2回

- ・ eラーニング研修期間 平成28年12月1日（木）～平成29年1月26日（木）
- ・ 集合研修期間 平成29年2月11日（土）～17日（金）
- ・ 開催地 東京
- ・ 修了者 43名

2) 他団体主催（テクノエイド協会共催等）

a) 介護実習・普及センター

- ・ 開催地 北海道、富山、大分
- ・ 修了者 71名

b) その他 関係団体（全国福祉用具専門相談員協会他）

- ・ 開催地 北海道、岩手、宮城、東京、神奈川、長野、
愛知、滋賀、大阪、島根、広島、鹿児島
- ・ 修了者 373名

3) 教育機関主催(新潟医療福祉大学、西武学園医学技術専門学校、神戸医療福祉専門学校)

- ・開催地 新潟、東京、兵庫
- ・修了者 51名

福祉用具プランナー管理指導者養成研修

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
起居移乗コース	H28.7.16(土)～22(金)	東京	21名
車いすシーティングコース	H29.1.7(土)～13(金)	東京	21名

(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

介護保険制度において可搬型階段昇降機の貸与事業者(福祉用具専門相談員)は、メーカー等による操作講習を受講すること、また貸与の際には利用者の家族等に実際に昇降機を使用させながら操作指導を行うことが義務付けられている。

従って「可搬型階段昇降機安全推進連絡会」(国内メーカー等)と連携し、可搬型階段昇降機の安全指導員講習(基礎講習及び機種別講習)を実施し、一定の水準に達した者に可搬型階段昇降機安全指導員資格証を交付した。(協会は基礎講習を実施)(安全指導員資格証交付者数累計2,064名)

基礎講習開催実績

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京、三重、大阪、北九州、福岡、沖縄
- ・修了者 327名(福祉用具プランナー管理指導者養成研修内15名含む)

2) 教育機関主催(国際医療福祉大学)

- ・開催地 東京
- ・修了者 1名

可搬型階段昇降機安全指導員資格証の交付実績

- ・交付者数 221名

(3) リフトリーダー養成事業

施設等介護従事者の腰痛予防のため職業定着支援助成金（厚生労働省職業安定局）を活用してリフト等福祉用具を導入する際に、施設内で計画・相談・研修・指導の中核となる人材であるリフトリーダーの養成研修を実施した。（修了者累計 3,173 名）

○リフトリーダー養成研修開催実績

①福祉用具プランナー管理指導者養成研修の枠内研修（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 東京
- ・修了者 18名

②他団体主催（テクノエイド協会共催）

1) 介護実習・普及センター主催

- ・開催地 茨城、富山
- ・修了者 67名

2) 各都道府県介護福祉士会主催

- ・開催地 岡山、宮崎、沖縄
- ・修了者 65名

3) 他団体主催（JASPA介護リフト普及協会他）

- ・開催地 青森、宮城、東京、山梨、愛知、大阪、兵庫
- ・修了者 364名

4) 教育機関主催（国際医療福祉大学）

- ・開催地 東京
- ・修了者 2名

(4) 高齢者のための車椅子フィッティングセミナー

車椅子の相談に携わる福祉用具プランナーや福祉用具貸与事業者を対象として、シーティングの基礎知識・技術、車椅子の選定・調整等を習得させ、その資質の向上を図るためのセミナーを実施した。

会場	開催日	受講者数
東京会場	H28.7.7(木)～8(金)	32名
北九州会場	H29.1.23(月)～24(火)	43名

(5) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な補聴器に関する知識及び技能の習得を目的とした認定補聴器技能者の養成講習を行うとともに、講習修了者を対象とする認定補聴器技能者認定試験を実施した。

また、認定補聴器技能者が在籍する補聴器販売店の所在地等を地図上で検索できるよう当協会ホームページから情報提供している。

各講習会を次のとおり実施した。

1) 第 期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第 期養成課程のeラーニング	H28.7.1(金) ~10.31(月)	578名	541名

2) 第 期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第 期養成課程のスクーリング	H29.1.30(月) ~1.31(火)	東 京	243名	241名
第2回 第 期養成課程のスクーリング	H29.2.6(月) ~2.7(火)	東 京	249名	241名
合 計			492名	482名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第 期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第 期養成課程の集合講習	H28.10.10(月) ~10.14(金)	東 京	197名	187名
第2回 第 期養成課程の集合講習	H28.11.14(月) ~11.18(金)	東 京	245名	233名
合 計			442名	420名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

4) 第 期養成課程の実技実習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第 期養成課程の実技実習	H28.8.25(木) ~8.26(金)	東 京	200名	200名
第2回 第 期養成課程の実技実習	H28.8.30(火) ~8.31(水)	東 京	163名	163名
合 計			363名	363名

5) 第 期養成課程の集合講習

区 分	開 催 日	場 所	受講者数
福岡開催	H28.6.14(火)	福 岡	47名
仙台開催	H28.6.24(金)	仙 台	12名
大阪開催	H28.7.7(木)	大 阪	117名
東京開催	H28.7.29(金)	有 明	175名
合 計			351名

6) 認定補聴器技能者に対する講習

(資格更新のため、5年以内に指定された7科目の講習受講が必要)

区 分	課 目	開 催 日	場 所	受講者数
名古屋開催	法規、接遇、補聴器の機能・音響、障害者福祉・リハ	H28.6.3(金)	名古屋	240名
札幌開催	接遇、障害者福祉・リハ、補聴器の機能・音響、フィッティング	H28.7.15(金)	札 幌	42名
大阪開催	フィッティング、接遇、臨床医学、音声・言語	H28.7.21(木)	大 阪	265名
仙台開催	音声・言語、法規、補聴器の機能・音響、臨床医学	H28.9.5(月)	仙 台	120名
福岡開催	障害者福祉・リハ、法規、補聴器の機能・音響、接遇	H28.9.16(金)	福 岡	212名
東京開催	接遇、臨床医学、フィッティング、音声・言語	H28.9.23(金)	有 明	368名
合 計				1,247名

認定補聴器技能者試験を次のとおり実施した。

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第24回認定補聴器 技能者試験	H28.11.4(金)	東 京	370	369	312	84.6

認定補聴器技能者試験合格者累計: 4,011名(平成5年第1回~平成28年度第24回)

3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

(31,373 千円)

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等の評価し、一定の基準を満たしたものとして認証された用具についての情報を提供しており、平成28年度末で、128件が認証されている。

また、福祉用具ヒヤリハット等検証事業として、福祉用具関係者を対象とした福祉用具使用のリスクマネジメントの能力を高める福祉用具安全推進員研修会やヒヤリハット情報を収集しイラストを活用した解説を提供する事業等を行った。

（1）福祉用具安全推進員研修会の開催

- ・開催地 東京、大阪
- ・修了者 76名

（2）福祉用具ヒヤリハット等事例収集及び提供

「製品に起因しない事故」や「ヒヤリハット情報」等を福祉用具安全推進員の受講者から新たに8事例を追加収集し、合計332事例を協会ホームページから情報提供した。

（3）福祉用具の安全な利用を考えるための教材【eラーニング】

福祉用具ヒヤリハット等事例のコンテンツを活用し、福祉用具の安全な利用を考えるための教材をeラーニングで学習できるようにした。また、福祉用具ヒヤリハット事例集をeラーニングで学習できるようにした。

4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等による事業

福祉機器開発普及等事業(8,803 千円)

平成18年10月に構築した「義肢装具等完成用部品データベースシステム」について、効果的かつ効率的な完成用部品の収集及び提供のあり方を国立障害者リハビリテーションセンターの関係者と検討を行い、新しい完成用部品データベースシステムの開発を行い、速やかな情報提供に寄与するシステムを構築した。

補装具費支給制度への借受け導入に係る制度のあり方に関する研究(5,822 千円)

補装具費支給制度の取扱いについては、平成30年4月の制度改正に向け借受けに関わる費用を支給対象とする旨の改正法が成立した。こうした背景を踏まえ、具体的な制度設計に必要とされる「借受けに係る基準額のあり方」及び、「借受けが適当とされる場合の要件」、さらには「児童における現状の課題把握と借受けのあり方」等について調査研究を行い、今後の制度運用に資する基本的な考え方を取り纏めた。

障害者自立支援機器等開発促進事業(158,120千円)

1) 障害者自立支援機器開発促進事業

障害者の自立や社会参加の促進の観点から、障害者のニーズと開発者のシーズのマッチングを図りながら、マーケットが小さく事業化や実用的製品化がなかなか進まない支援機器について、開発企業が障害者と連携して開発する取り組みに助成を行うことで新たな企業の参入を促し、また、各企業が適切な価格で障害者が使いやすい機器を製品化し、普及を図る取組みを行った。

・応募案件36件 採択案件16件

2) シーズ・ニーズマッチング強化事業

障害当事者のニーズをよりの確に捉えた支援機器開発の機会を創出すべく、障害当事者・団体と開発メーカー等によるシーズ・ニーズマッチング交流会を開催した。交流会では、開発を支援する機関も交えて機器開発に向けた活発な交流の場を設けた。

また、交流会後のフォローアップ等を行うため、シーズ・ニーズマッチング運営会議を立ち上げ、障害者現場のニーズを踏まえた、適切かつ良質な支援機器の製品開発を促進するための検討を行った。

【大阪開催】

- ・開催日 平成29年1月19日(木)
- ・場所 OMM(大阪マーチャндаイズマート)
- ・出展参加 60企業・団体
- ・来場者 321名

【東京開催】

- ・開催日 平成29年2月3日(金)
- ・場所 TOC有明
- ・出展参加 72企業・団体
- ・来場者 425名

介護ロボット開発等加速化事業

1) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(74,662千円)

高齢者介護の現場において、真に必要とされる福祉用具・介護ロボット(以下「介護機器等」)の開発に資するため、昨年度に引き続き、開発早期段階の介護機器等を専門職が助言する「アドバイス支援事業」と、実際の介護現場において使い勝手のチェック等を行う「モニター調査事業」を実施した。

一方、国民の誰もが介護ロボットについて、必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、全国8カ所で介護機器等の展示・体験などを行う介護ロボット普及モデル事業や介護ロボットの展示、シンポジウムなどを開催した。

2) 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業支援業務(3,000千円)

介護ロボットを導入する施設において、解決すべき課題（ニーズ）を明らかにし、それを解決するための技術（シーズ）とマッチングさせ、施設における介護業務の中でより効果的な介護ロボット等の利活用が促進されることが重要であることから、「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業」が厚生労働省により10機関採択された。

本事業は、それらの事業の適切な進捗を支援するものとして実施し、採択された10機関の提案した新たな介護ロボットの機器コンセプトの概要の取り纏めを行った。

3) 介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業支援業務(8,000千円)

介護ロボットの導入を推進するためには、介護ロボットの開発だけではなく、介護ロボットを活用した介護技術の開発が必要であり、「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」が厚生労働省により平成27年度補正予算事業として8機関採択された。

本事業は、それらの事業の適切な進捗を支援するものとして実施し、その成果概要の取り纏めを行った。

介護ロボットの普及促進に資する啓発イベント等の実施モデル事業(12,600千円)

本事業では、介護ロボットの適切な利用を促すための啓発イベントとして、介護ロボットを導入し、効果的に活用している好事例を表彰するモデル事業を実施した。

全体で95件の応募があり、好事例賞11案件、優秀賞8案件さらに優秀賞受賞8機関の発表会を開催し、その中から最優秀賞1件を選定し、表彰した。

なお、本事業は、政府が掲げた「ロボット新戦略」に基づく、ロボット大賞の拡充に繋げる事業として位置付け、モデル事業の実施成果を踏まえ、部門別の審査や選考の基準、実施方法、表彰等の在り方についての検討を行いその結果を取り纏めた。

福祉用具の種目の検討等に関わるシステム構築に関する調査研究(10,500千円)

介護保険の対象とする新たな種目・種類の追加や、拡充等については、現在、「介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会」において審議されているところであるが、新たに実用化された機器等については、当該製品の有効性や安全性等を十分に吟味するためのスキームが確立されておらず、適宜適切な判断を行うためのシステム構築が求められている。

本事業では、我が国の医療機器や諸外国（米国、デンマーク、スウェーデン、ドイツ、韓国）における福祉用具の認証プロセス等に関する調査研究を行い、もって我が国における機器の有効性や安全性等を検証するためのシステムのあり方を検討した。

また、併せて、現在、自由価格となっている福祉用具貸与に係る価格の見える化に資するため市町村調査を実施し、その結果を踏まえて、今後の見える化のあり方の検討を行った。

(2) 消費生活協同組合の助成金による事業

消費生活協同組合助成金事業(4,000千円)

要介護者・障害者に適した住宅改造技術について、基本的な知識と施行方法等をまとめた冊子を作成、関係者へ配布するところにより、対象者の「生活の質」の向上に寄与する情報を提供した。

冊子名 福祉用具シリーズ Vol. 21 「自立支援のための住環境整備」
印刷部数 3,000部
主な配布先 都道府県・政令指定都市、中核市、介護実習・普及センター他

5. 義肢装具士国家試験の実施(公益目的事業5)

義肢装具士法による指定試験機関として、第30回義肢装具士国家試験を実施した。

- ・試験日 平成29年2月24日(金)
- ・試験地 東京
- ・合格発表 平成29年3月28日(火)

試験結果

受験者数	合格者数	合格率
254人	221人	87.0%

第1回～第30回までの累積合格者数は5,125名

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業(公益目的事業6)

補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の基準に適合している補聴器販売店を「認定補聴器専門店」として認定している。

また、認定補聴器専門店に関する情報を当協会ホームページから情報提供している。

平成28年度新規認定	47店
平成28年度更新認定	98店
平成29年度認定店	753店

7. 法人自主事業

(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

「福祉用具」関係者新年交流会の開催

福祉用具関係者の団体、行政関係者、企業などが一堂に会して報告や意見交換を行い、ネットワーク形成を行う場としての新年交流会を開催した。

- ・日 時：平成29年1月19日（木）13：30～19：00
- ・会 場：アルカディア市ヶ谷（穂高の間、大雪の間）
- ・参加者：122名（行政、専門職、メーカー、供給事業者等）
- ・内 容：第1部 関連団体報告会、第2部 懇親会

「福祉用具サミット」の開催

福祉用具貸与事業者等の全国組織の幹部をメンバーとして意見交換等を行う場としての会合を開催した。

全国福祉用具相談・研修機関協議会の支援

福祉用具関係団体、メーカーなどを会員とし、政策提言活動を行う「全国福祉用具相談・研修機関協議会」の全国会議等の開催支援及び通常活動の事務支援を行った。

1) 全国会議の開催

- ・開催期間 平成28年10月24日（月）～10月25日（火）
- ・開催地 主婦会館プラザエフ（東京都）
- ・参加者 94名

2) 役員会（年3回）の開催

福祉用具利活用に関する人材のあり方意見交換会の開催

全国福祉用具専門相談員協会、日本義肢装具士協会、日本言語聴覚士協会、日本作業療法士協会、日本理学療法士協会、福祉用具プランナー研究ネットワークの幹部をメンバーとして、意見交換会を開催した。

(2) 広報活動

- ① 「福祉用具の日」推進事業等に関連し、普及促進のためのパンフレット等を作成し、配布等を行った。
- ② 国際福祉機器展等への出展
 - 第43回 国際福祉機器展（期間 H28. 10. 12～10. 14） 東京ビッグサイト

(3) 福祉用具の規格化に関する事業

ISO (国際標準化機構) に関する国内審議団体としての事業

ISO/TC173 (リハビリテーション機器システムに係る専門委員会) / SC2 (用語と分類に係る分科委員会) 国内委員会の事務局として業務を行い、日本にて国際会議の開催、新規格の発行及び次期改訂案作成に向けた国内検討委員会を開催した。

ISO (国際標準化機構) に関する国際幹事としての事業

日本工業調査会より国際幹事引受けの承認を受け、ISO/TC173 (リハビリテーション機器システムに係る専門委員会) / SC2 (用語と分類に係る分科委員会) の国際幹事としての業務を行った。

(4) その他の事業

海外調査の企画支援

テクノエイド協会の企画により、ヨーロッパ先進国における福祉用具開発・普及の状況、地域ケアシステム等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・ 訪問国 ドイツ、イタリア
- ・ 期 間 平成28年9月28日(水)～10月6日(木)(9日間)
- ・ 参加者 28名(視察コース:18名、展示会コース:10名)

「金沢福祉用具情報プラザ」の運営に係る助言・指導等

展示福祉用具選定部会における助言等

- ・ 日 時 : 平成28年11月9日(水)
- ・ 場 所 : 金沢福祉用具情報プラザ

福祉用具プランナー研究ネットワーク(略称:プラネット)の事務支援

平成28年7月3日(日)に兵庫県姫路市において第2回福祉用具プランナー研究ネットワーク研究大会の開催支援と、その後の事務処理を行った。(会員数467名)

関係団体の行事等に対する後援、協賛(年間48事業等)

8 . 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、福祉用具関連書籍の販売を行っている。

書 籍 名	販売部数
福祉用具支援論	204
自助具ハンドブック	25
計	229

・理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回次	主な議題等	出席等
平成28年6月7日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 平成27年度事業報告及び決算 第1回評議員会の開催 ・報告事項 基本財産の運用について 職務の執行状況について 障害者自立支援機器等 開発促進事業について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席8名、欠席7名)、監事出席2名
平成28年6月22日	第1回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 平成27年度事業報告及び決算 評議員選任 ・報告事項 基本財産の運用について 職務の執行状況について 障害者自立支援機器等 開発促進事業について 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席2名)、理事出席2名
平成28年11月14日	第2回理事会 (書面)	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 平成28年度補正予算の編成 	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成29年2月4日	第3回理事会 (書面)	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 第2回評議員会の開催 	議題について、理事15名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成29年2月28日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 補正予算編成に伴う事業計画書変更 任期満了に伴う役員選任方針 諸規程改正 平成29年度事業計画及び予算 ・報告事項 基本財産の運用状況について 職務の執行状況について 評議員の選任について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席11名、欠席4名)、監事出席2名

開催年月日	回 次	主 な 議 題 等	出 席 等
平成29年3月2日	第2回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 任期満了に伴う役員選任方針 評議員選任 平成29年度事業計画及び予算 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業計画及び 予算の変更について 諸規程の改正について 基本財産の運用状況について 職務の執行状況について 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席11名、欠席4名)、理事出席2名

・評議員の異動

1. 平成28年6月22日 第1回評議員会

評議員の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
まつ い かつ ろう 松 井 逸 朗	辞任	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 前会長
あ べ かず ひこ 阿 部 一 彦	選任	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 会長

2. 平成29年3月2日 第2回評議員会

評議員の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
みや もと いち ろう 宮 本 一 郎	辞任	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 前理事
あら い やす よし 荒 井 康 善	選任	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事

．贊助会員の現況

1．会員の構成（平成29年3月末現在）

法人会員：73団体（93口） 個人会員：3名（3口）

【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	45	59.2%
福祉用具供給事業者	4	5.3%
関係団体	13	17.1%
その他の企業	11	14.5%
個人	3	3.9%
計	76	100%

2．入 会 及 び 退 会

○入 会（法人7団体）

○退 会（法人2団体、個人1名）

・委員会等の開催状況（テクノエイド協会が主催等を行うもの）

開催日	行事等
4月22日	認定補聴器専門店 申請手続き説明会
5月13日	認定補聴器専門店 申請手続き説明会
5月18日	会計士監査
5月25日	福祉用具プランナー研修試験委員会
5月26日	監事監査
5月27日	自立支援機器等開発促進事業公募説明会（福岡会場）
5月30日	自立支援機器等開発促進事業公募説明会（東京会場）
5月31日	自立支援機器等開発促進事業公募説明会（大阪会場）
6月3日	認定補聴器技能者に対する講習会（名古屋）
6月7日	第1回理事会
6月8日	第1回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月9日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（北九州）
6月10日	第2回福祉用具プランナー研修試験委員会
6月14日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習会（福岡）
6月22日	第1回評議員会
6月24日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習会（仙台）
6月24日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習
6月26日	福祉用具シリーズ作成委員会
6月29日	自立支援機器等開発促進事業 第1回審査委員会（主婦会館）
7月7日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習会（新大阪丸ビル）
7月7日	車椅子フィッティングセミナー（江戸川）～8日
7月11日	障害者自立支援機器等開発促進事業 補助金事務及び倫理審査事務に関する説明会
7月14日	認定補聴器専門店 書類審査委員会議
7月15日	認定補聴器技能者に対する講習会（札幌）
7月16日	管理指導者養成研修【起居移乗編】～22日迄
7月21日	認定補聴器技能者に対する講習会（新大阪）
7月25日	第1回 シーズ・ニーズマッチング運営会議（主婦会館）
7月25日	義肢装具士国家試験 方針決定・出題依頼会議
7月26日	福祉用具サミット
7月29日	認定補聴器技能者 第Ⅳ期養成課程講習会（TOC有明）
7月31日	福祉用具シリーズ作成委員会
8月4日	認定補聴器専門店 実地調査委員会議
8月19日	第1回介護ロボットの普及促進に資する啓発イベント等の実施モデル事業 検討委員会

8月25日	認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程講習会（TOC有明）～26日
8月25日	福祉用具の種目の検討等に関わるシステム構築に関する調査 第1回委員会
8月30日	認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程講習会（TOC有明）～31日
9月2日	補聴器技能者試験部会 問題選定会議
9月5日	認定補聴器技能者に対する講習会（仙台）
9月8日	福祉用具プランナー研修（埼玉会場）～10日
9月8日	障害者自立支援機器等開発促進事業技術支援アドバイザーによる定期相談会
9月9日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（大阪）
9月9日	障害者自立支援機器等開発促進事業技術支援アドバイザーによる定期相談会
9月12日	義肢装具士国家試験 問題選定会議
9月15日	福祉用具プランナー研修（埼玉会場）～16日
9月16日	認定補聴器技能者に対する講習会（福岡）
9月22日	福祉用具プランナー研修（埼玉会場）～23日
9月23日	認定補聴器技能者に対する講習会（TOC有明）
9月26日	福祉用具シリーズ作成委員会
9月30日	補聴器技能者試験部会 問題決定会議
10月7日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月7日	第3回開発促進事業アドバイス相談会（主婦会館）
10月10日	認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程集合研修（TOC有明）～14日
10月13日	ISO/TC173/SC2及びWG12国際会議～14日
10月18日	第1回完成用部品のDBの在り方に関する調査検討委員会
10月20日	補装具制度への借受け導入に係る制度のあり方に関する研究 第1回検討委員会
11月1日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（四日市）
11月4日	第24回認定補聴器技能者試験（TOC有明）
11月7日	福祉用具シリーズ作成委員会
11月8日	介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業 第1回推進委員会
11月11日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（春日市）
11月12日	認定補聴器技能者試験 採点作業
11月14日	認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程集合研修（TOC有明）～18日
11月14日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月18日	第4回開発促進事業アドバイス相談会
11月22日	第1回介護ロボット実用化支援事業モニター調査検討委員会（主婦会館プラザエフ）
11月24日	認定補聴器技能者試験 採点作業～25日
11月28日	認定補聴器技能者試験 採点作業～29日
12月2日	認定補聴器技能者試験 採点作業
12月3日	福祉用具シリーズ作成委員会
12月6日	介護ロボットの普及促進に資する啓発イベント等の実施モデル事業 第2回検討委員会

12月7日	I SO/TC173/SC2国内委員会
12月8日	可搬型階段昇降機基礎研修再試験
12月9日	第2回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
12月12日	義肢装具士国家試験 問題校正会議
12月16日	補聴器技能者試験部会
12月17日	支援機器シーズ・ニーズマッチングWG(御茶ノ水)
12月19日	福祉用具を安全で安心して利用するための基礎セミナー(新大阪)
12月21日	第2回補装具費支給制度への借受け導入に係る検討委員会
12月22日	福祉用具を安全で安心して利用するための基礎セミナー(主婦会館プラザエフ)
1月6日	ニーズ・シーズ連携協議協議会設置事業支援業務 第1回委員会(主婦会館)
1月7日	福祉用具プランナー管理指導者研修 ~13日
1月11日	認定補聴器技能者養成ビジョン推進会議(TKP 飯田橋)
1月17日	義肢装具士国家試験問題最終確認作業
1月17日	義肢装具等完成用部品のデータベースの在り方に関する調査研究 第2回検討委員会
1月19日	「福祉用具」関係者新年交流会(アルカディア市ヶ谷)
1月19日	シーズ・ニーズマッチング交流会(大阪)
1月23日	車椅子フィッティングセミナー(北九州) ~24日
1月27日	介護ロボットメーカー連絡会議(主婦会館)
1月27日	義肢装具士国家試験問題確認
1月30日	認定補聴器技能者 第I期養成課程スクーリング日程①(有明) ~31日
1月31日	福祉用具臨床的評価事業 第1回評価委員会
2月1日	福祉用具臨床的評価事業 ヒヤリハット等検討委員会
2月1日	補聴器技能者養成部会
2月3日	シーズ・ニーズマッチング交流会(TOC有明)
2月3日	第2回障害者自立支援機器等開発促進事業 審査委員会(TOC有明)
2月3日	可搬型階段昇降機安全指導員講習
2月6日	認定補聴器技能者 第I期養成課程スクーリング日程②(TOC有明) ~7日
2月10日	介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業 第2回 推進委員会
2月13日	認定補聴器専門店 実地調査委員会議
2月13日	認定補聴器専門店審査部会
2月13日	福祉用具ヒヤリハット等検証事業委員会(都財団)
2月24日	第30回義肢装具士国家試験(TOC有明)
2月27日	補聴器協議会
2月28日	第4回理事会
2月28日	福祉用具臨床的評価事業 第2回評価委員会(生活支援ロボット安全検証センター)
3月1日	介護ロボットフォーラム2016(TOC有明)
3月2日	第2回評議員会

3月8日	認定補聴器技能者養成事業 実技内容検討会議
3月13日	義肢装具士国家試験 問題審査・合否案決定会議
3月14日	ニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業支援業務 第2回検討委員会
3月17日	第2回 シーズ・ニーズマッチング事業運営会議（主婦会館）
3月17日	介護ロボットの普及促進に資する啓発イベント等の実施モデル事業 第3回検討委員会
3月21日	第2回 福祉用具の種目の検討等に関わるシステム構築に関する調査研究事業 検討委員会
3月22日	補装具費支給制度への借受け導入に係る制度のあり方に関する研究 第3回検討委員会
3月22日	義肢装具等完成用部品のデータベースの在り方に関する調査研究 第3回検討委員会
3月23日	福祉用具臨床的評価事業認証委員会
3月25日	福祉用具臨床的評価事業 第3回評価委員会
3月28日	義肢装具士国家試験合格発表